

入院サポートセンター

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 藤谷 太郎(副院長、経営改革推進本部本部長、経営改革推進室長)
- 奥田 康之(入院サポートセンター長)
- 大谷 広美(消化器病センター長、手術センター長、手術部長、改善推進室長補佐、クオリティマネジメント室長)
- 稲田 千春(看護長)
- 看護師:14名
- 看護補助者:2名
- 医師事務作業補助者:2名
- 薬剤師:4~5名
- 愛媛ホスピタルパートナーズ:4~5名
- 【入院サポートセンター運営委員会】
- 藤谷 太郎;入院サポートセンター運営委員会担当管理職
- 奥田 康之;入院サポートセンター運営委員会委員長
- 大谷 広美;入院サポートセンター運営委員会副委員長
- <医局>
- 阿部 恵美子、柳原 豊、小川 日出夫、荒本 孝良
- <看護部>
- 稲田 千春、樋野 晃子、松尾 智子
- <薬剤部>
- 鳥谷 政和
- <栄養部>
- 伊藤 由未子
- <事務局>
- 越智 祐二郎
- <愛媛ホスピタルパートナーズ>
- 久保田 三枝

2. 運営方針

2015年4月から、手術を受ける患者さんを対象とした「術前サポートセンター」の運用を開始しました。入院前に行うべき業務を標準化し、多職種が連携することで、外来から入院・手術に向けて円滑に移行できるよう、入院前から療養支援を行っています。業務内容として、入院前に全身状態のチェックを行うとともに、さまざまな入院前説明を行い、患者さんとご家族に安心と安全を届けることを目的に、治療の標準化が進んでいる手術前患者を対象に介入してきました。

2016年10月には「術前サポートセンター」の体制と機能を強化し、手術以外の入院患者にも対象を拡大するために「入院サポートセンター」へ移転拡大しました。入院サポートセンター内には、麻酔科術前外来、診察および説明室9室、入院受付、入院患者待合、持参薬管理受付が設置され、入院患者の情報一元管理の基盤を整えました。

移転後段階的な拡大を目指し、外科系診療科では現在、呼吸器外科、産婦人科、乳腺・内分泌外科、消化器外科(上部消化管・下部消化管・肝胆膵)、耳鼻咽喉科・頭頸部外科(成人・小児)、泌尿器科、心臓血管外科、整形外科の手術前患者を対象としています。

2019年5月から、内科系診療科を対象に加え、順次、対象診療科の症例拡大を目指しています。

また、2018年の診療報酬改定に伴い、『入院前スクリーニングシート』を作成し、褥瘡に関する危険因子の評価、栄養の評価、退院困難な要因の有無の評価を行い、2020年3月より入院時支援加算が算定できるようになり、2023年3月より療養支援計画書を整備し、入院時支援加算1を算定しています。

2024年4月から、看護師付事務作業補助者を導入し、基礎情報の代行入力、面談室への患者案内、動画視聴のセッティング等の業務を、看護師の指示のもと協働で行っています。

3. 実績

外来特殊部門1に属し、入院・手術が決定した患者さんの対応をしています。2024年は、眼科の白内障パスと、泌尿器科の自家麻酔パスの症例を拡大しました。

■ クリニカルパス対象診療科

運用開始月	対象診療科
2015年4月～	呼吸器外科、産婦人科
2015年5月～	消化器外科(胆嚢)
2015年6月～	乳腺・内分泌外科
2016年2月～	消化器外科(上部消化管)
2016年6月～	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
2016年12月～	泌尿器科
2017年5月～	心臓血管外科(ステントグラフト内挿術)
2017年7月～	消化器外科(肝臓)、整形外科(関節手術)
2017年10月～	消化器外科(下部消化管)
2017年12月～	心臓血管外科(ASO血行再建術)
2018年4月～	耳鼻咽喉科・頭頸部外科(小児)
2019年1月～	消化器外科(膵臓)
2019年5月～	消化器内科
2019年12月～	循環器内科
2020年12月～	整形外科(脊椎手術)
2023年2月～	消化器外科(ヘルニア)
2023年8月～	耳鼻咽喉科(内視鏡下咽喉頭手術)
2024年8月～	眼科(白内障)
2024年10月～	泌尿器科(自家麻酔)

※外科系:クリニカルパス対象疾患、内科系:予定入院患者

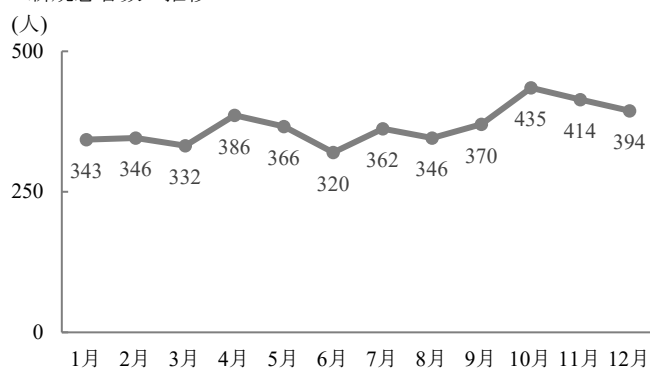
■ 入院時支援加算1・2/入退院支援加算1・2算定件数

	2023	2024
入院時支援加算1	369	980
入退院支援加算1	3,643	5,027
入院時支援加算2	118	1
入退院支援加算2	246	0

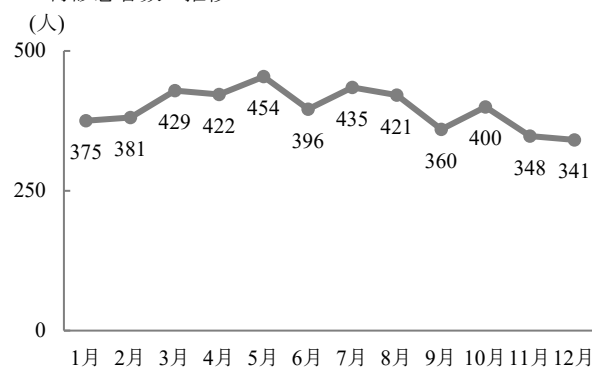
※入院前に必須項目と任意項目の支援を実施することにより、退院時に入退院支援加算1「700点」を算定した患者さんに対し、入院時支援加算1「240点」を算定しています。

2024年の入院時支援加算1・2算定件数は、前年より大幅に増加し、981件でした。病棟と入院サポートセンターのスタッフで、退院支援の要否を決定づける対象患者について協議し、共有した結果が成果に反映しています。高齢化や基礎疾患、多様な生活背景を抱えた患者の増加により、早期から退院後の生活を把握し介入していることも、算定件数の増加に繋がっています。

■ 新規患者数の推移



■ 再診患者数の推移



■ 診療科別新規・再診患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2023
呼吸器外科	5	19	9	16	16	17	18	16	20	8	11	7	162	122
産婦人科	26	31	31	24	26	26	31	29	29	28	16	30	327	370
消化器外科(胆嚢)	19	9	16	18	16	5	15	16	24	12	16	8	174	215
乳腺・内分泌外科	16	30	27	27	21	25	29	17	21	23	24	28	288	250
消化器外科(上部)	12	11	8	11	9	12	9	6	12	10	6	8	114	96
耳鼻咽喉科	26	19	22	28	29	26	31	18	16	23	20	17	275	245
泌尿器科	22	15	15	24	18	13	13	23	18	19	15	18	213	238
心臓血管外科	6	14	9	13	10	10	18	7	9	11	12	11	130	106
消化器外科(肝臓)	6	9	9	9	7	4	8	10	9	7	10	12	100	109
整形外科	40	27	27	39	44	17	24	20	22	39	22	31	352	317
消化器外科(下部)	20	20	15	26	23	21	26	17	25	27	22	19	261	267
消化器外科(脾臓)	2	6	11	6	8	5	8	10	5	1	8	7	77	80
消化器内科	86	80	70	82	70	72	75	60	66	77	82	67	887	1,029
循環器内科	57	55	63	61	67	67	57	68	63	64	78	64	764	747
消化器外科(ヘルニア)	—	1	0	2	2	0	0	0	1	0	1	2	9	9
眼科(白内障)	—	—	—	—	—	—	—	29	30	35	37	25	156	—
泌尿器科(自家麻酔)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	34	40	125	—
合計	343	346	332	386	366	320	362	346	370	435	414	394	4,414	4,200
再診患者数	375	381	429	422	454	396	435	421	360	400	348	341	4,762	4,862

4. 2025 年度目標

- (1) 入院する患者さんやご家族が退院後に望む生活に戻るよう入院前から支援を行います。
- (2) 各部門と連携を図り、患者さんやご家族が安心して安全に手術・治療を受けられる環境を提供します。
- (3) 他職種と協働し、入院サポートセンター内の業務の効率化を目指します。